

第11表

インバランス等収支計算書

2022年4月 1日から
2023年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	251,223	営業収益	221,151
地帯間購入電源費	102,385	地帯間販売電源料	62,724
(インバランス対応取引費用)	37,990	(インバランス対応取引収益)	45,777
(インバランスネットイング費用)	35,895	(インバランスネットイング収益)	6,370
(広域運用調整電力量に係る費用)	28,499	(広域運用調整電力量に係る収益)	10,576
他社購入電源費	144,896	他社販売電源料	63,381
(インバランス対応取引費用)	23,827	(インバランス対応取引収益)	32,780
(インバランスの買取りに係る費用)	74,801	(追加供給電力量に係る収益)	-
(追加供給電力量に係る費用)	13,087	(追加供給力に係る収益)	-
(追加供給力に係る費用)	3,828	託送収益	87,207
社内取引費用	3,941	接続供給託送収益	87,207
(インバランス対応相当額取引費用)	-	(インバランスの供給に係る収益)	87,207
(インバランスの買取相当額取引費用)	3,941	(インバランスリスク料に係る収益)	1,905
		(インバランス調整に係る収益)	-
		社内取引収益	7,837
		(インバランス対応相当額取引収益)	-
		(インバランスの供給相当額取引収益)	7,837
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	240
特別損失	-	特別利益	36
(インバランス調整に係る費用)	-	(インバランス調整に係る収益)	36
インバランス等取引利益(インバランス等取引損失)	△ 30,035		

- (注) 1 インバランス等収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は4,012百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は4,082百万kWhである。
- 2 財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。
なお、2022年度における確定額は、営業費用251,685百万円(地帯間購入電源費102,385百万円、他社購入電源費145,359百万円、社内取引費用3,941百万円)及び営業収益220,213百万円(地帯間販売電源料62,724百万円、他社販売電源料63,476百万円、託送収益86,173百万円、社内取引収益7,837百万円)である。
また、2022年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は3,974百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は3,955百万kWhである。
- 3 インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バラシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。
- 4 インバランスに係る債権の貸倒損及び貸倒損引当から貸倒損引当戻入を控除した額は、24百万円(引当額:税込債権額を基に算定)である。
- 5 財務諸表において事業外収益に計上されているインバランス調整に係る収益(調整期間における調整不能額)36百万円について、特別利益へ振替をしている。